

第 1171 回放送分『眼科疾患』2 回目

ゲスト：田中 最高ドクター

二見いすず

今月のドクタートークは「眼科疾患」をテーマにお送りしています。
お話は、鹿児島県医師会 田中 最高（たなか よしたか）ドクターです。
田中さん、よろしくお願いいたします。

田中最高Dr.

よろしくお願いいたします。

二見いすず

先週はアイフレイルについてお話しいただきました。
アイフレイルというのは、目の老化現象のことで、症状として感じやすい老眼や白内障、
他にドライアイ、結膜弛緩症などが関係しています。
そして厄介な病気として緑内障、加齢黄斑変性などもあるとのことでした。今日は白内障について教えていただけますか。

田中最高Dr.

はい。老眼と白内障は同じものではないですが、関連はあります。
急に老眼の症状が出てきた場合は、一度白内障を疑ったほうがいいでしょう。

二見いすず

そうなんですね。自分で勝手に「急に老眼がきたなあ」と思っていたら
実は白内障だったという可能性もあるんですね。
症状としてはどのようなものがあるのでしょうか？

田中最高Dr.

目のかすみ、まぶしさなどがあります。進行すると視力低下が顕著になります。
原因は、目の中の水晶体というレンズが濁ることで起こります。

二見いすず

白内障かどうかは検査をすればすぐに分かるのでしょうか？

田中最高Dr.

はい。目薬で瞳孔を開く散瞳検査をします。
1つ気を付けていただきたいこととして、散瞳検査をすることで、
5～6時間程度、まぶしくなったり、見えにくくなったりすることがあります。
そのため検査の際は余裕をもって受けてください。
そして散瞳検査はなるべく年に1回検査することをおすすめします。

二見いすず

そうなんですね。それでは検査の後は仕事や運転などは控えたほうがよさそうですね。
治療はどのようなことをするのですか？

田中最高Dr.

初期のうちは目薬によって進行を遅らせることができます。
しかし良くするならば手術になります。手術時間は人によりますが、
特殊な場合でなければ10分から20分ほどで終了します。

二見いすず

そんなに早く終わるんですね。手術ではどのようなことをされるんですか？

田中最高Dr.

濁った水晶体を新しい透明な眼内レンズに置き換える手術をします。
レンズの劣化はほぼないため、
そのまま一生交換する必要があることがほとんどです。

二見いすず

ちなみに白内障になりやすい原因として、生活習慣は関係してきますか？

田中最高Dr.

普段の生活習慣が主な原因となることはまれで、加齢によるものがほとんどです。
ただし中には糖尿病や事故などの外傷性、ステロイドによる白内障などもあります。

二見いすず

よく分かりました。
今月は、「眼科疾患」をテーマにお送りしています。
お話は、鹿児島県医師会 田中最高ドクターでした。
田中さん、ありがとうございました。

田中最高Dr.

ありがとうございました。